



2025年2月14日

各位

会社名 日機装株式会社
代表者名 代表取締役社長 甲斐 敏彦
(コード番号 6376 東証プライム)
問合せ先 執行役員コーポレート部門長 村上 雅治
(TEL. 03- 3443 - 3717)

次期配当予想(増配)に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、次期2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の配当予想について決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 次期配当予想について

(1) 次期配当予想の内容

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
次期予想 (2025年12月期)	18円00銭	18円00銭	36円00銭
当期実績 (2024年12月期)	15円00銭	15円00銭	30円00銭
前期実績 (2023年12月期)	12円50銭	15円00銭	27円50銭

(2) 増配の理由

当社は、財務健全性、資本効率および株主還元の最適なバランスを追求しつつ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現していくことを基本的な資本政策としています。継続的かつ安定的な利益還元は当社の資本政策の重要な柱であるとの基本認識のもと、業績、経営環境などを総合的に勘案した利益還元を行なっていくとともに、新規事業の育成、生産体制の強化に向け内部留保を適正に再投資に振り向けます。

中期経営計画「Nikkiso2025 フェーズ2」では、事業収益力の改善、財務健全性と資本効率性を前提とし、2025年の総還元性向35%を目安として、株主還元の安定的向上に取り組んでいます。

当期の期末配当については、2024年12月期業績は減損等一過性損失の計上による影響が大きく営業利益以下の通期業績予想を下回る結果となりましたが、安定配当の継続という当社の基本方針に基づき、1株当たり15円としました。この結果、当期の年間配当金は1株当たり30円となります。

次期の配当については、主力事業の収益性改善や今後の事業拡大の進展により中計フェーズ2で掲げた営業利益目標140億円の達成に確かな手応えが出始めている状況等を踏まえ、3円増配の1株当たり18円とし、次期の年間配当金は36円を予定しています。

これにより、次期の総還元性向は約 21%程度となる見込みですが、経営環境や各事業の進捗を見極めながら、総還元性向 35%を念頭に更なる株主還元の強化を検討してまいります。

(参考)

2025年12月期通期の業績予想

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
2025年12月期 業績予想(A)	百万円 230,500	百万円 14,000	百万円 14,700	百万円 11,300	円 銭 170.63
2024年12月期 実績(B)	213,379	6,398	10,010	7,957	120.15
増減額(B-A)	+17,120	+7,601	+4,689	+3,342	
増減率(%)	+8.0%	+118.8%	+46.9%	+42.0%	

(注) 為替前提：1米ドル=150円、1ユーロ=160円

以上